

平成 18 年度（2006）第 2 回出雲市議会一般質問通告目次

9月6日(水) 9:30 開会			9月7日(木) 9:30 開会			9月8日(金) 9:30 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	勝部 順子	1～3	1	遠藤 力一	13～14	1	杉谷 寿之	23
2	坂根 守	3～4	2	長岡 幸江	14～16	2	広戸 恭一	24
3	松村 豪人	4～6	3	川上 幸博	16	3	牛尾 尚義	25
4	萬代 輝正	7～8	4	曾田 盛雄	17～18	4	原 隆利	25
5	板倉 一郎	8～9	5	石川 寿樹	18～21	5	直良 昌幸	26
6	高野 成俊	9～12	6	萬代 弘美	21～22	6	珍部 全吾	27
7	米山 広志	12～13	7	福代 秀洋	22	7	大国 陽介	28～29

平成18年度(2006)

第2回出雲市議会(定例会)一般質問通告

質問者	21 勝部 順子		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 7月豪雨災害の教訓	<p>7月豪雨により出雲市は多くの被害を受けました。特に神戸川流域の被害が大きく2人の方が亡くなり1人の方はいまだ行方がわからない状況にあります。また、住宅への床上浸水や床下浸水、田畑、教育施設なども大きな損害を受けました。</p> <p>大変多くの被害を被った今回の災害を教訓にし、今後の防災対策に活かす手立てを見つけることが重要だと思います。</p> <p>1. 行政から市民への災害情報の伝達について</p> <p>災害から市民の生命、財産を守るためには、災害情報の伝達をいかに迅速に、的確にできるかが重要です。全市民への伝達についてはどのようにされるのか伺います。</p> <p>行政と市民の災害に対する意識の違いがあると思います。平時から市民の災害に対する意識を高め、わが町の河川や山間</p>	市長	

	<p>地の状況も知っておく必要があると思います。そうすることで、災害時に行政と情報を共有することが出来るのではないのでしょうか。今後市民と行政と一緒に取り組むことが重要ですが市の考えを伺います。</p> <p>2. 避難のあり方について 緊急時の避難に対する市民への周知のあり方。(自主避難・避難勧告) 夜間の避難についての市の考え。(避難誘導) 高齢者・障害者の方の避難に対する支援についての市の考え。</p> <p>3. 来島ダムについて 来島ダム放流時の情報の周知について今のままでよいのか。新たな方法を考える必要があると思いますが、市の考えを伺います。 「来島ダムの放流が今回の災害を大きくした一因ではないのか」との多くの声を聞きます。ダムや河川の専門家の検証が必要だと考えます。また被害に遭われた神戸川流域の方への説明も必要ですがどのようにお考えですか。</p>		
<p>2. 市営住宅の現状と、今後の建設計画について</p>	<p>1. 市営住宅の待機者の状況と今後の建設予定について伺います。(障害者用住宅も含)</p> <p>2. 高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助制度について 利用状況について 対象住宅の拡充についての考え</p>	<p>市長</p>	

	3. 若者向け（既婚者）の住宅の必要性について、市の考えを伺います。		
3. 児童の治療用眼鏡の保険適用について	<p>1. 小児弱視や斜視の子どもたちの現状について伺います。</p> <p>2. 治療用眼鏡・コンタクトレンズについて、今年4月から保険適用が始まっています。市内の子どもたちの利用状況について伺います。</p> <p>3. 対象年齢が9才までになっていますが、全国の自治体単位で独自に対象者の拡大がなされています。出雲市での取り組みを提案します。</p>	健康福祉部長	

質問者	18 坂根 守
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 山陰高速道（出雲～湖陵～多伎）の早期事業着手を	<p>1. 今年度から多伎朝山間の事業着手がなされました。しかし出雲～湖陵～多伎間が未定であり、災害時・緊急時に不安であるとともに、つながりが無く経済性もあがらない、早期着手を期待しているが今後の見通しと建設への運動展開を伺う。</p> <p>2. 7月豪雨で9号線が34時間全面ストップしました。地元市民にとっては生活道であり大混乱を余儀なくされました。迂回路として未完成の小田一般農道の早期完成を</p>	市長	

	待ちわびているが完成時期は何時になるのか。		
2. 田儀櫻井家の整備と市道拡幅を早期に	<p>1. 国の史跡指定をうけ整備が進められるが金屋子神社・智光院の修復整備はどのようなになるのか</p> <p>2. 越堂たたらが発掘が行われているが、空き民家の下に本体があるといわれているが、買収し全容を調査するのか。また、最終的に越堂たたら整備計画はどのようにするのか</p> <p>3. 櫻井家屋敷跡までの市道が狭く見学にこられる方が苦勞しておられる。市道拡幅を早期に、また案内板の設置はできないのか 何う</p>	市長	

質問者	2 松村 豪人
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市立総合医療センターについて	<p>1. 総合医療センターの収支改善について直近の決算の状況を示されたい。何年度までに収支均衡させる計画か。病院経営の健全化に向けた取り組みが進められているが、現段階での状況はどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点における患者数の状況（外来、入院）、収益的収入及び支出の状況について 	市長	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他収支改善に影響する指標があれば、その状況について また、これらを踏まえ、18年度の最終的な純損失（または純利益）は昨年度に比べどうなると予測しているか。 一般会計繰入金は、今後、交付税算入の削減が進む中で担保できるのか。 2. 医療制度改革関連法の成立による影響について 国の医療制度改革関連法の成立により、社会的入院の解消を目的とし、2011年度までに療養病床の見直し、介護療養病床が廃止されることとなった。また、療養病床における診療報酬の改定がなされた。これらによる影響はどのようなものか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入院患者への影響 ・ 退院を余儀なくされる患者がいるか。また、受け皿はどうするのか。 ・ 総合医療センターの経営に与える影響 3. 総合医療センターの運営形態のあり方について 全国の自治体病院の約6割が赤字だと言われているが、自治体病院でしか担うことのできない医療がある。事務局の考え方を問う。 将来にわたる存続を前提とし、運営形態の検討を行うべきでは。 		
2. 母子家庭への支援について市の見解を問う	母子及び寡婦福祉法等の改正を受け、児童扶養手当制度の見直しがなされた。これにより、平成20年度から、児童扶養手当の受給	市長	

	<p>期間が5年を超える場合には、それ以降、手当を減額する制度が導入された（減額は最大2分の1）</p> <p>母子家庭の年収は一般世帯と比べて低いなか、児童扶養手当は命綱というべきもの。市長の見解を問う。</p> <p>児童扶養手当とは。</p> <p>制度改正に対する見解</p> <p>手当の減額により影響を受ける世帯の数はいくらか。</p> <p>平成15年度から受給している人は、平成20年度から減額開始となる。手当の支給額を現行水準通りとすると、いくら予算が必要と見込まれるか（減額幅2分の1として）</p> <p>実際の手当削減が開始される平成20年までの間、時限立法である「母子家庭の母の就業の支援に関する特別措置法」により、就業支援等により自立を促すこととされているが、市での施行状況はどうか。</p> <p>今後の市としての対応を問う</p>		
--	---	--	--

質問者	5 萬代輝正		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 新市のスポーツ振興への取り組みについて	1. 出雲市スポーツ振興基本計画の概要について 2. 基本施策の『スポーツ施設の有効活用と整備』について 3. 基本施策の『スポーツアカデミーの創出』について 4. 基本施策の『指導者活用システムの構築』について 5. 18年度の基本施策予算と実施計画、配分について	市長	
2. ゆめタウンイズミの出店計画の現状と今後の対策について	1. 市として把握されている現在までの経過と課題について 2. 現時点での周辺住民（店舗と駐車場に囲まれる住民）に対する説明は、どのように行われ、改善に向け解消されてきたか 3. 今後のイズミへの対応と周辺住民への配慮は 4. これからの諸々の申請手続き、建設、その他のスケジュールについて	市長	
3. 21世紀神話観光大国の創造について	1. 出雲グランドデザインの推進と大社門前町開発調査検討会議の報告書との整合性について 2. 各種事業推進のための庁舎内推進体制について 3. 地元住民の理解と支援体制について	市長	

	<p>4．大社門前町再生の事業計画の骨格について</p> <p>5．本事業推進に伴う産業としての観光、地域活性化の具体的な手法は</p>		
--	--	--	--

質 問 者	6 板 倉 一 郎
-------	-----------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．出雲阿國座の創設について	<p>1．出雲阿國座の創設は、観光面が大きく取り上げられ採算性などが問題視されている。出雲阿國座は、日本の伝統文化の伝承発展など芸術文化の振興を主に目的としていると考えるが、市長に阿國座創設の目的を伺う。</p> <p>2．出雲阿國座建設の現在の状況について伺う。</p> <p>3．出雲阿國座の利用法は、どのように考えているのか伺う。</p> <p>4．ソフト面での体制づくりは、どのように考えているのか伺う。</p> <p>5．地域での応援体制は、どのように考えているのか伺う。</p> <p>6．出雲阿國座創設に向け、地域への情報発信はどのように考えているのか伺う。</p> <p>7．出雲阿國座創設に向け、全国への情報発信はどのように考えているのか伺う。</p>	市 長	

2. 出雲市の雇用情勢について	<p>1. 全国的に景気回復と言われているが、地方では、実感がない現状がある。出雲市における経済情勢および雇用情勢について伺う。</p> <p>2. 来春の新卒者の求人状況について伺う。</p> <p>3. 中高年者の雇用対策として、中高年者向けの産業づくりが必要であると考え。出雲市の取り組みについて伺う。</p> <p>4. 出雲市内における障害者の雇用状況および出雲市の取り組みについて伺う。</p> <p>5. この度設置された総合雇用情報センターの利用状況について伺う。</p>	市長	
3. 地域ブランド権利化の取り組みについて	<p>出雲の特産品ブランド化への取り組み状況について伺う。</p> <p>特に本年4月より施行された地域団体商標制度を積極的に活用すべきと考えるが、出雲市での取り組み状況および出雲市の取り組みについて伺う。</p>	市長	

質問者	12 高野成俊		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 18年7月豪雨災害の防災体制について	<p>災害後、市議会全員協議会も開かれ執行部より被災状況、災害対応について説明もあったが、その説明後、改めて被災された方たちや住民の方に伺うと、警報発令後の防災体制に問題があったと感じている。</p>	市長	

	<p>最近の豪雨による神戸川流域の災害では昭和47年以来であり、それから30有余年が経過している今日、水害対策については、住民もまさか堤防が決壊するとは思わなかったなど、危険意識も薄れていた事も考えられる。</p> <p>そのような状況下では、やはり行政の防災体制、避難警告、連絡、誘導については大きな役割と責任があると考え。警戒警報発令後の避難連絡、誘導、避難場所の設定について、どのように対応されたのか。問題、不備は無かったのか。また、この度の災害を教訓とし、今後改善しなければならない点をどう認識しているのか伺う。</p>		
<p>2. 18年7月豪雨災害神戸川上流部の治水について</p>	<p>1. この度の災害で被災された住民の皆さんが異口同音に言われることは、この度の災害は天災ではない、人災だと強く言っておられる。</p> <p>その言われる要因のひとつとして、来島ダムの放流が被害を大きくしたのではとされている。</p> <p>市議会全員協議会でも中国電力からこの度の来島ダム操作状況について説明があり、議会からも質問、意見などされたところであります。</p> <p>現在、市当局としても、県、中国電力と協議をされていると聞いているが、現在の県と中国電力側との協議内容について市としてどのように認識しているのか伺います。</p>	<p>市長</p>	

	<p>2 . 2 番目に被害を大きくした要因として挙げられるのが、所原の知谷地内で西日本高速道路(株)により建設されている高速道の架橋工事の為に建設された工事用橋であります。</p> <p>神戸川増水時にこの橋が流木などを堰き止め、その事により、川の流れを堰き止めたことが上流部を増水させ、堤防を破堤させたといわれています。</p> <p>先般、8月28日神戸川上流部改修促進委員会の総会に県の土木部、出雲県土整備事務所出席のもとでも私も県に対し伺ったが、この度の災害時における仮橋への対応がどうであったのか、また洪水時に構造物が河川に与える影響がでる際の対応について、県と事業者である西日本高速道路(株)の対応を市はどのように受け止められているのか伺う。</p>		
<p>3 . 1 8 年 7 月 豪 雨 災 害 斐伊川流域の災害対策 について</p>	<p>この度の豪雨により斐伊川流域の上津地区、大津の三谷地内においても家屋や自動車など浸水被害を受けておられる。</p> <p>この地域は斐伊川流域の浸水常襲地域といっても過言ではなく、過去 10 年間のなかでも、浸水被害があっている。</p> <p>ことさら、この度の被害は過去の水害に対応すべく新築された家さえが浸水してしまったなど、この度の豪雨の被害の大きさが窺われる。</p> <p>この地区からは、これまで水害対策として、市に対し要望などなされているが、抜</p>	<p>建設事業 部長</p>	

	<p>本的な対策がなされていないのが現状です。</p> <p>斐伊川流域の上島町、船津町は前方には天井川の斐伊川と後方は山に面し、平野部には水田が広がり、自然豊かな静かな地域ではありますが、地域住民の皆さんは長雨、集中豪雨のたびに水害の危険にさらされ、恐怖を抱いておられます。</p> <p>この度は、谷間から流れる水と新田川、宇那手川の水が地域から捌けなく、斐伊川の洪水からの水が逆流し浸水しております。</p> <p>被災者、地域の方からは斐伊川放水路が完成すれば、放水路へ吐き出すことが出来、水害から開放されるといったお話を伺うとともに、市に対しその要望がなされていると聞いておりますが、放水路への吐出しなど具体的な計画について伺う。</p>		
--	--	--	--

質問者	22 米山 広志		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 神西湖周辺整備と資源開発	<p>1. 多目的公園の整備、国道9号線からのアクセス道路の整備計画</p> <p>2. 神西湖を活用した資源開発に対しての行政の関り</p>	市長	

2. 小・中学校校舎改修事業	1. 大社中、須佐小改修事業の内容 2. 他の小・中学校にも同じ改修計画があるか。すでに改修済みがあるか。 3. 両校の建築設計は同じ事務所か。 4. 両校は地震災害時の避難場所に指定してあるのか。 5. 耐震性	教育長	
3. 平成18年7月豪雨	1. 来島ダム操作状況の疑問点 2. 原因は県、中電、その他にあるか 3. 現地に県職員が派遣されたか。中電は放流自動記録計を設置しているか。 4. 馬木と古志のピーク流量	市長	

質問者	3 遠藤力一		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 住みやすい市営住宅を目指して	1. 入居希望待機者は何世帯あるか、特に集中している地域などがあるか 2. 2015年までの市営住宅の建設計画はあるか、すでに計画実施されているものを除いて 3. 入居規則の連帯保証人と敷金について 4. 退去時の補修について 5. 外装内装などの補修の周期 6. 住宅本体の構造上の問題により発生しているカビなどの補修について 7. 住宅用火災警報器の設置は	建設事業部長	

2. 阿國座（仮称）への市長の取り組み姿勢を問う	1. 財政状況から見た建設時期について 2. 収支計画とその根拠 3. 歌舞伎公演の料金は値上がりするか 4. 2003年、阿国発祥400年記念行事を大社町で開催し、地歌舞伎交流大会を10月12日から2週間開催しているが、集客数と収支は 5. 旅行エージェントなどの感触とリサーチ状況 6. 経営が成り立つか成り立たないか市長の明快な回答を頂きたい	市長	
--------------------------	---	----	--

質問者	17 長岡幸江			
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事	
1. 新庁舎建設について	1. 基本計画の背景について 現市庁舎の現況 新庁舎建設への取り組み ・ 新庁舎のあるべき姿 目標の設定（人口・規模） ・ 将来職員数（本庁勤務職員） ・ 庁舎規模（敷地面積・延床面積・階数） 2. 新庁舎建設の基本設計について 計画の基本方針 敷地の特性 敷地利用計画（駐車場・緑地帯・防災	市長		

	<p>センター等) 外部動線計画(人・車) 部門構成(窓口・一般事務・首脳・議会・福利厚生等) 市民開放スペース(市民ロビー・コミュニティホールほか) 内部動線計画(出入口の位置・視認性ほか) 外観計画(自然との共生) 維持管理計画 防災避難計画 省エネルギー計画 建設計画の策定を目前に、上記各基本計画についての取り組み方針、構想を伺う。</p>		
<p>2. 子育て支援について</p>	<p>1. 当市の子育て支援の充実を目ざし、「いきいき子どもプラン」の着実な推進を図り、子どもや子育て家庭を取りまく環境の変化に対応した子育て支援体制づくりを地域社会と協働で取り組む行動計画が出されていましたが、この支援体制の現状と今後の取り組み計画について先ず伺う。</p> <p>子育て支援体制の充実 保育サービス、施設の整備充実 幼児教育体制、施設の整備充実</p> <p>2. 国・企業・地域が応援できる子育て支援国の制度にプラスされる自治体独自の経済支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成支援法の適用について ・子どもを持つ家庭への支援策 ・子育て経済支援(独自) 	<p>市長</p>	

	<p>地域で応援する子育てについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども家庭支援センター（孤独な子育て解消を目ざす） 「働きながら育てる」を支援（男性の子育て参加） ・企業や経済団体へも波及する子育て支援 ・男性も育児参加できる企業を目ざす 		
--	---	--	--

質 問 者		8 川 上 幸 博	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
林業政策について	<p>1．林業振興の立場から今後の活性化策を伺います。</p> <p>2．松くい虫防除が毎年行われているが防除効果はあるのか。全国的に被害量が減少傾向にあるといわれているが、この地域では減少しているようには思えませんので、本腰を入れて対策に取り組む必要があると考えるが、市の考えを伺う。併せて県産松材の生産推移も示して頂きたい。</p> <p>3．県では、公共部門における木材利用行動計画が策定されているが、出雲市として公共工事に積極的に木材を利用する考えは無いのか伺います。</p> <p>4．林業は、環境保全に寄与していますが環境政策として林業に対して補助金を出す考えは無いのか伺います。</p>	市 長	

質問者	10 曾田盛雄		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1．平田地域における治水対策について	<p>1．斐伊川下流部から宍道湖周辺部に於ける災害対策の取り組みについて伺う。</p> <p>2．平田船川河川改修の流域から外れる、園町布崎沖ノ島地区の治水対策計画は</p> <p>3．西田放水路計画について</p> <p>4．災害時の緊急放送、又はCATV、防災無線の取り組み状況について伺う。</p>	市長	
2．河下港の整備について	<p>1．現在の整備状況と、過去の投資額なり又、将来の利用計画を伺う。</p> <p>2．国土交通省の交付金制度を利用した港の整備について</p> <p>平成19年度に国土交通省が港湾を憩いの場として整備する市町村を対象とした交付金制度を創設する。河下港がある北浜地区は、風力発電の中心地として20基の風車が建設され、地元としても観光開発も含めて地域の活性化等を考えている。出雲市におかれては、地元の意見も参考に事業計画をまとめられ、是非この支援制度を利用した河下港での施設の建設等を風力発電事業計画と絡めて実施したらと考えるが、市長の所見を伺う。</p>	市長	
3．リフォーム補助金制度について	<p>1．出雲市のリフォーム補助金制度は、市民の評判が良く、受付開始日即日に予定数に達すると聞いている。従って、この制度の</p>	市長	

	<p>利用者に地域的な不公平がないか精査され、仮に不公平がある場合は、是正策を検討されたいとの声があるが。</p> <p>2. リフォーム補助金制度の利用状況と、助成申請の手続きについて伺う。</p>		
--	--	--	--

質問者	9 石川 寿 樹
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 来島ダムの放水は適切に行われたか	<p>1. 来島ダムの水位が17日の午後2時以降、放水できる状態に達していたにもかかわらず、なぜ早めに放流を開始し、急激な水位上昇を抑えることができなかったか。ダムの管理者である中電が水量確保に固執するあまり、放水のタイミングを誤ったのではないか。</p> <p>2. 中電からの放水開始の情報は、どのような方法で県なり本市に通知される仕組みになっていたのか。また、これに基づき、佐田、乙立、朝山地区はもとより下流全域の住民に迅速かつ的確に情報が伝達され、周知されたか。</p> <p>3. 来島ダムの放水が問題視されるなかで、放水操作や住民への周知方法などについて検証するため、県において「来島ダム洪水時操作等検討委員会」が設置された。8月</p>	市長	

	<p>1 1日に第1回の委員会が開催されているが、その検討内容と本市から参加された委員がどのような意見を述べられたか伺う。</p> <p>4 . 今回、被害を大きくした要因の一つとして、山陰高速自動車道を建設するための仮設橋が挙げられている。事業主体である西日本高速道路(株)と河川管理者である県との間で、事前に洪水時に仮設橋を撤去するなどの取り決めがあったのか。</p> <p>5 . 来島ダムの放水に係わる県、中電の危機管理意識の欠如、仮設橋に対する西日本高速道路(株)の管理の不手際など、今回の災害は極めて人災的要素が強い。本市として今後、原因分析を徹底的に行い、結果次第では関係機関に対し、損害賠償を求める考えがあるのか。</p>		
<p>2 . 神戸川上流部の河川改修</p>	<p>1 . 神戸川は8月1日、支流を含めた水系全体が一級河川に指定された。しかしながら、今回最も被害の大きかった朝山地区の馬木堰から現在建設中の志津見ダムまでの間は、国の直轄管理区間ではなく、従来どおり県の管理区間として継続されることになった。なぜ、神戸川水系全体を国の直轄管理区間にできなかったのか。</p> <p>2 . 同じ神戸川水系でありながら、国の直轄管理区間と県の管理区間が混在することにより、災害時の連絡の不徹底や維持管理面での予算格差が生じることになりはしないか。</p> <p>3 . 県では、これまでほとんど手付かずであ</p>	<p>建設事業部長</p>	

	<p>った朝山地区の知谷から谷合間の 5.5 キロを災害対策等緊急事業により暫定改修としているが、今後、どのような予算とスケジュールで改修が進められていくのか。</p> <p>4 . 今回の改修はあくまで暫定的なものであり、当初計画である「神戸川広域基幹改修事業」の完遂が待たれるが、その事業内容と今後の見通しについて伺う。</p>		
<p>3 . 改修が進行中の河川に対する災害の備え</p>	<p>1 . 古志地区の神戸川右岸、船本地区において、堤防が未完成のため 19 日午前 6 時頃に決壊寸前の事態が発生した。17 日からの雨量やその後の天気予報を勘案すれば、管理者である県において、事前の対策が打たれるべきではなかったか。</p> <p>2 . 同様な事態が新宮川と十間川が交差する地点でも発生し、未完成堤防の両岸から水があふれ出し、付近一帯が冠水した。国交省が管轄している水門管理の甘さを含め人災的要素が強いと思われるが、農業施設や作物などの被害に対し、国交省はどのような補償を考えているのか。</p> <p>3 . 今回の古志地区の例に限らず、河川の改修工事が進行している場合、梅雨時期や台風シーズンの備えとして何らかの対策が講ぜられていると思うが、国交省においてどのような規程が設けられているのか。</p> <p>4 . これまで公の場で「新宮川は洪水の心配なし」と明言されてきたが、今回、工事が進行中とは言え、思わぬ被害が発生した。今後、放水路事業が完成した暁には、当初</p>	<p>建設事業 部長</p>	

	の約束どおり「洪水の心配なし」と明言できるのか。		
--	--------------------------	--	--

質問者	20 萬代弘美
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 7月豪雨災害について 実態に見合った被災者支援及び、今後の防災対策について	1. 被害の実態に見合った被災者支援策の拡充について 2. 神戸川上流部の災害復旧と今後の抜本的改修計画について 3. 防災計画の検証と住民主体の防災計画見直しについて	市長	
2. 障害者自立支援法 10月本格実施で求められる緊急課題の解決	1. 市の責任で実態調査の実施を 大幅な利用者負担増によるサービス利用抑制や報酬の激減による施設経営の悪化など、深刻な問題が出ている。本格実施を前に重ねて影響調査の実施を求める。 2. 実態に見合った利用者負担、施設運営困難の改善など、できる限りの市独自支援策を実施すること。 低所得者世帯ばかりでなく国の減免対象からはずれる「一般世帯」をふくめた、独自軽減策の実施を 施設・事業に対する報酬が激減している。日払い方式の見直しの見直しを国に求めると同時に施設運営費補助など独自施策を	市長	

	1 割負担導入による市の財政軽減額を使って、利用者負担の軽減策実施を 3 . 国に対し、自立支援法抜本改善と10月実施の地域生活支援事業へ国庫補助増額を求めること		
3 . 介護保険見直し後、介護ベット、車イスなど必要なサービスの継続を	4月からの介護保険見直しで「要支援」「要介護1」の人について、これまで利用していたベット、車イスが利用出来なく困っている事例の相談が寄せられている。現状どのように把握をされているのか。必要なサービスの継続実施を求める。	市長	
4 . 「出雲弥生の杜霊園」建設計画について	住民合意の得られていない計画に対し、「墓地経営を許可する方向」といった拙速な判断はすべきでない。	市長	

質問者 11 福代秀洋

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
図書館行政について	1 . 市立図書館の基本的役割について 出雲市の図書館が果たすべき役割について、現状をあわせお考えを伺います。 2 . 市内6館の位置付けについて 市内図書館6館の地域及び市全体としての位置付けを伺います。 3 . 今後の整備について ソフト面、ハード面における今後の整備について伺います。	教育長	

質問者	33 杉谷寿之
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
出雲市のプレジャーボート対策について	<p>1. 市内の河川、及び漁港に多数のプレジャーボートが係留されている。その多くは許可なく係留、放置する例が数多くみられ、公共施設の損傷や周辺地域の生活環境や、景観の悪化など問題が各地で発生している。市当局は、この現状をどの様に把握しているか</p> <p>2. 許可なく係留（いわゆる不法係留）するプレジャーボートに対し、行政として何処にどのような法的根拠をもって、指導、管理する権限があるのか。又罰則規定はあるのか。</p> <p>3. 「不法係留」を無くす為にはどのような対策が行政としてとれるのか。その問題解決の具体的な方策は如何。</p> <p>4. 河川と漁港の夫々の管理者が連携し、プレジャーボートの収容施設を計画実行に移さねばならない時期にきている。水産庁などが最近すすめている「フィシャリーナ」の設置などがそれであり、地方自治体の意欲的な取組みが必要だが、我が市では如何。</p>	市長	

質問者	13 広戸恭一
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市農業の概要と農家の経営形態および農業の担い手とは	<p>1. 市長は、農業と農業経営の違いをどの様にとらえていますか伺います</p> <p>2. 農業生産額、農家数、栽培耕地面積、家畜飼養戸数、家畜飼養頭羽数の現況と推移は</p> <p>3. 17年度特産品目販売高の合計とトップ3の品目および取り扱い高とその割合</p> <p>4. ぶどう・柿・菌床椎茸栽培の生産農家数と面積および菌床数の現況と推移</p> <p>5. 農業の担い手とはどのような個人、法人、組織を指すものか</p>	市長	
2. 農業振興施策「21世紀出雲農業 FFF(サンエフ)事業」について	<p>1. 基本的な考え方を伺う、また出雲市とJA双方が対等に経費負担し、協力し合って事業を推進するとあるが、その経緯と、ねらいと効果を伺う</p> <p>2. 今後は、事業量を拡大するのかまた、するとしたらJAとの負担割合に変更はあるのか</p> <p>3. 施策種類は3点あるが、その中で産地化を目指す特産振興事業費(5千万)の内容を伺う</p>	市長	
2. FFF(サンエフ)事業で、ぶどうハウス及び他の被覆ビニールの張り替え事業は対象となるか	事業内容として市内で生産される農林産物の品質向上および産地の維持、拡大と示されているが特に明記されていない、この点について具体的に示されたい	市長	

質 問 者		23 牛 尾 尚 義	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 来島ダムについて	1. ダムの耐久性について 2. 中電の説明をどう受け止めたか。	市 長	
2. 県営稗原ダムについて	1. 県営稗原ダムは洪水に対してどの程度機能するのか。利水ダムであることは承知しているが、治水対策としても何らかの活用方法を考えて頂きたい。 2. パイプラインの完成が予定より1年遅れると聞いている。19年度から利用できることを想定して計画を立てている人は多い。特に幾つかの溜池においてはこの度の集中豪雨によって堰提が損傷したのものもあるが、パイプライン敷設を見越して補修の申請をしていない人もいる。市としては何か対策を考えているか。	市 長	

質 問 者		26 原 隆 利	
質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
「地域学校運営理事会」について	1. 運営理事会設置の目的 2. 現在までの設置校数 3. 理事の選任、処遇、理事会の開催頻度 4. 会議の公開及び、地域への広報	教 育 長	

質問者	15 直良昌幸
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 安全・安心のまちづくりに向かって - 7月の水害について	1. 7月豪雨水害発生を検証について被害を大きくした要因(神戸川流域)について伺います。 降雨期を前に関係機関などとの事前に水害対策協議の場が持たれたのかどうか伺います。 特に被害の大きかった神戸川流域の災害復旧緊急対策事業について今後のスケジュールも含めて伺います。 災害発生予測時の避難場所の選定と住民への緊急情報の伝達方法について伺います。 災害復旧費とその財源について伺います。	市長	
2. 歳出の削減に向かって	1. 西谷墳墓群活用推進事業(仮称 出雲弥生博物館建設)について伺います。 計画規模の縮小について 事業の延期について	市長	
3. 街路の美化の推進に向かって	1. 除草作業について 発注業者の選定について 施業時期について 2. 落書き防止と消去について	市長	

質 問 者	32 珍 部 全 吾
-------	------------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1．出雲大社を中心とする観光政策について	<p>出雲市の観光は出雲大社中心であると思う。それを前提として下記の質問</p> <p>1．門前町まちづくりの基本政策 どの様な基本計画か まちづくりとソフト事業との協調をどの様に考えているか</p> <p>2．出雲阿國座について 基本計画 長期的に運用をどの様に考えているか</p> <p>3．その他観光政策に対する基本方針</p>	市 長	
2．大橋川河川改修について	<p>1．7月水害を経験し、住民の河川に対する不安が広がっている中、目途の立たない大橋川改修について別の案を考える必要もあると思う。 市長の考え方 国交省の基本はどうか</p>	市 長	

質問者	1 大 国 陽 介
-----	-----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1．7月豪雨災害について	<p>1．市内に甚大な被害をもたらしたが、何を今後の教訓にするべきと考えるか、市長の所見を伺う。</p> <p>2．避難勧告の情報伝達についてどのような検証がなされたのか伺う。</p> <p>3．住民の避難は危険な状態の中行われたが、特に佐田町において、避難所がそのときの状況に応じた施設であったかどうか、検証が必要と考えるが、いかがか、所見を伺う。</p> <p>4．被災者の生活再建と同様に、農業被害も深刻な状況であるが、現状の支援制度では不十分と考える。再生産が可能となり、農業が続けられるような支援策を求めるが、いかがか。</p>	市 長	
2．大型店イズミ出店で、市内業者の営業と市民のくらしは守られるのか	<p>1．出店にあたっての現時点での進捗状況の詳細を伺う。</p> <p>2．市長は、イズミと地元業者とが「共存できる」と判断されているが、その根拠を伺う。</p> <p>3．地元から出されている要望にどの程度応えられる見通しがあるのか伺う。</p> <p>4．イズミの出店で市内業者をはじめ、市民のくらしが守れるのか、市長の所見を伺う。</p>	市 長	
3．広報いずもは市民の貴重な情報源。配布体制の充実を	<p>1．行政の情報を市民に伝える責任について市長の所見を伺う。</p> <p>2．情報提供は行政の責任で確実に行うべき</p>	市 長	

	であり、現行の配布方法の見直しを求める がいかがか。		
4．出雲阿國座計画は住 民参加で見直しを	1．この計画についてアンケートを実施した ところ、否定的な意見が大多数を占めてい る。このまま計画を進めるのか、市長の所 見を伺う。 2．計画をいったん凍結し、計画の抜本的な 見直しを検討すべきと考えるがいかがか。	市 長	